

みんなちがってみんないい

自分のことを決めつけられたり、仲間はずれにされたりすると悲しい気持ちになりますね。自分は自分でいいんだと思えたり、人のことをありのまま認めていけたらいいですね。自分らしさを大切にしていくことを考えてみませんか。

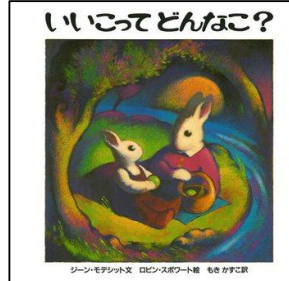
【絵本】



あしなが

あきやま ただし／作・絵
講談社

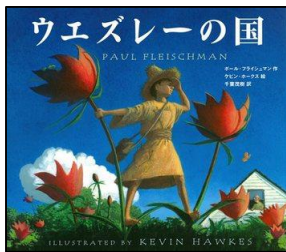
すらりとした美しい犬・あしながは、のら犬たちから嫌われていました。カッコいいけど最低のやつ。みんなのうわさ話を信じたのら犬のケンは、ある日あしながの本当の姿を知ります。



いいこってどんなこ？

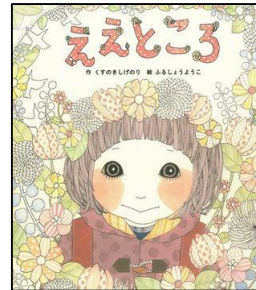
ジーン・モデシット／文
ロビン・スポワート／絵
もき かずこ／訳 富山房

うさぎのバニーぼうやがたずねます。「ねえ、おかあさん、いいこってどんなこ？」おかあさんは、どの質問にも、一つ一つ丁寧にこたえます。バニーはバニーらしくしているのが一番なのだと。



ウエズレーの国

ポール・フライシュマン／作
ケビン・ホックス／絵
千葉 茂樹／訳 あすなろ書房
仲間はずれにされていた少年ウエズレーが夏休みの自由研究に、自分だけの作物、服を作り、「遊び」「文字」を発明して、「自分だけの文明」をつくりだす物語です。



ええところ

くすのき しげのり／作
ふるしょう ようこ／絵
学研教育出版 (Gakken)

あいちゃんは背が低くて、走るのも遅くて、100点なんて1回もとったことがない。「わたしって、ええところひとつもないなあ」と、ともちゃんに言うとき…。



ええやんそのままで

トッド・パール／作 つだ ゆうこ／訳
解放出版社
ええやん。盲導犬は、大切なわたしの友だち。ええやん。ちいさいのも、まんなかも、おおきいのも、背がすごーく高いのも、ほら、わたし。



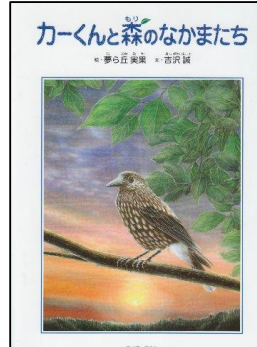
おおきいトンとちいさいポン

いわむら かずお／作・絵
偕成社
大きい犬のトンと小さい犬のポンは仲良し。ある日、背の高い方がいいか低い方がいいかくらべっこ。ユーモアと機知にとんだ絵本。



ぼく、ひっじじゃなくてぶたんなんだ

ピム・ラマース／文
ミルヤ・ブラーフマン／絵
長山 さき／訳 ほるぷ出版
牧場にいるひっじたちの中に、「ぼくはこぶたんなんだ！」というこひっじがいました。どろろの中を転げまわるのが好きで、ブーブーと鳴きます。農家のおじさんが獣医さんにみせると…。



カーくんと森のなかまたち

夢ら丘 実果／絵 吉沢 誠／文
ワイズ・アウル
ホシガラスのカーくんは、最近元気がないようです。「みんなのように立派な美しい羽がない」「カッコよく飛べない」とつぶやいています。でも、カーくんにもいいところはあるんです。

かえるくんはかえるくん

マックス・ベルジュイス／文・絵 清水 奈緒子／訳 セーラー出版

僕は世界一、幸せものだと思っていたかえるくん。でも、あひるさんが空を飛ぶのを見てがっかり。空も飛べないなんて、僕って本当はだめなかえるのかなあ。

ストライプ

デヴィッド・シャノン／文・絵 清水 奈緒子／訳 セーラー出版

カミラはいつも人の目ばかり気にしている女の子。みんなが嫌いなリマ豆が本当は好物なのも秘密にしています。新学期の朝、格好を気にして服をとっかえひっかえしていたカミラの体が…。



かっくん

クリスチャン・メルベユ／文
ジョス・ゴフィン／絵 乙武 洋匡／訳
講談社
まんまる家族は、ふとつちょくんも
おちびさんも、みんながまんまる。
ところがある日、おかあさんのお
なかから生まれてきた赤ちゃんは
まんまるではありませんでした。



きみはきみだ

斉藤 道雄／文・写真
子どもの未来社
みんなと同じにできることもあれば、
ひとりだけできないこともあります。
それでいいんです。きみはきみなの
だから…。



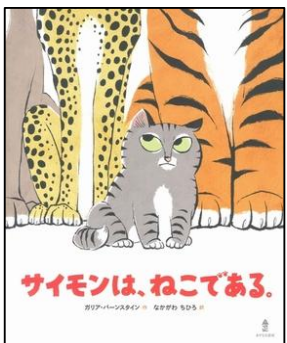
くれよんのくろくん

なかや みわ／作・絵
童心社
新品のクレヨンたち。箱から飛び
出して画用紙に絵を描いて大喜
び。ところが、くろくんだけは、仲
間に入れてもらえません。



ぐるんぱのようちえん

西内 ミナミ／作 堀内 誠一／絵
福音館書店
ぐるんぱは、ひとりぼっちの大きなぞう
です。ぐるんぱは、色々な仕事場で一
生懸命に働きますが、つくるものが大
きすぎて失敗ばかり。



サイモンは、ねこである。

ガリア・バーンスタイン／作
なかがわ ちひろ／訳 あすなろ書房
ねこのサイモンがライオンたちに
言いました。「ぼくたち、にてます
ね」するとライオンたちは大笑い。
違うところをあげていきます。でも
似ているところもたくさんあって
…。



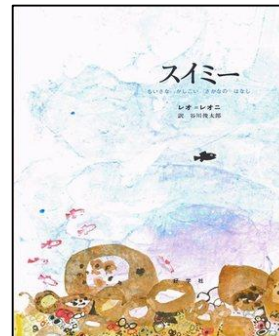
しげちゃん

室井 滋／作 長谷川 義史／絵
金の星社
「わたし、じぶんの名前、キライ！」
男の子みたいな名前のせいで、
しょっちゅういやな目にあっている小
学1年の女の子しげるは、お母さん
に「もっとかわいい名前にかえてよ」
と言いますが…。



しょうぼうじどうしゃじぶた

渡辺 茂男／作 山本 忠敬／絵
福音館書店
大きくて立派なみんなは、いつも
小さな消防自動車じぶたを「ち
びっこ」あつかいました。でも、
道がせまい山の中で火事がおこ
り出動を命じられたのはなんとじ
ぶたでした。



スミミー

レオ・レオニ／作 谷川 俊太郎／訳
好学社
小さな黒い魚スミミーは、広い海
で仲間と暮らしていました。ある日、
なかまたちがみんな大きな魚に食
べられてしまい、一匹のこったスミ
ミーは旅に出かけます。



すきなことにがてなこと

新井 洋行／作 嶽 まいこ／絵
くもん出版
ぼくは、スポーツが大好き。だけ
ど、みんなの前で話すのは苦手。
話すのが大好きなりんちゃんは、
動物が苦手…。「すき」も「にが
て」も、ありのままがいい。



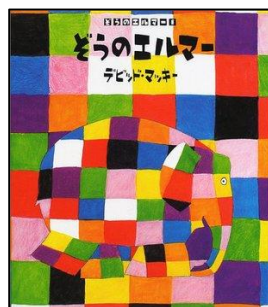
ヒューイたちのあたらしいセーター

オリヴァー・ジェファーズ／作
よしやま あかり／訳
文響社
ヒューイってね、みんな、そっくり、お
んなじだったんだ。そのなかのひとり
が、素敵なセーターを編むまでは…。
みんなとちがうって、おもしろい！



Zero

キャサリン・オートシ／作・絵
乙武 洋匡／訳 講談社
自分も数えられる数字になれたらなあ。そう思っていたゼロですが…。セブンのアドバイスで、自分をよく見つめてみると…。



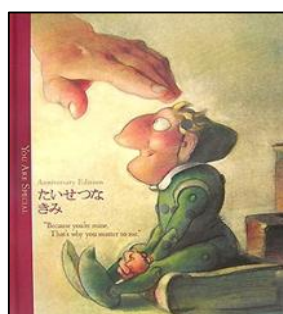
どろのエルマー

デビッド・マッキー／文・絵
きたむら さとし／訳 BL出版
エルマーは、パッチワークみたいなカラフルなぞう。でもエルマーにとって、自分だけ違うことは悩みのたねでした。ある日、エルマーは「他のぞうと同じ色になりたいな」と考えて、こっそり群れを抜け出します。



そらをとびたかったペンギン

申 ももこ／作 はやし みこ／絵
shizu／協力 学苑社
とべないペンギン、モモちゃん。自分だけ違うこと、できないこと。それは弱みでなく、本当は強みだったのです。



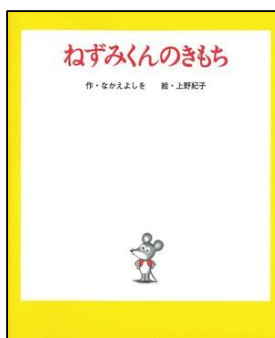
たいせつなきみ

マックス・ルケード／著
セルジオ・マルティネス／絵
ホーバード・豊子／訳 いのちのことはいろいろなことができない小人や、絵の具がはげている小人たちに貼られる灰色のだめじりしシール。パンチネロもそんなシールが貼られたひとりでした。



たったひとりのあなたへ

エイミー・リード／文
マット・フェラン／絵
さくま ゆみこ／訳 光村教育図書
フレッドは、テレビカメラにおかかって、「あなたがあなたのままでいるだけで、今日が特別な一日になります。わたしは、そのままのあなたが大好きです」アメリカのこども番組で、伝え続けました。



ねずみくんのきもち

なかえ よしを／作 上野 紀子／絵
ポプラ社
ねずみくんは公園でねこくんにいじわるされてしまったねずみくん。小さくて臆病で失敗ばかりのねずみくんにふくろうさんが教えてくれた、いちばん大切なことは…。



はずかしがりやのミリアム

ロール・モンロブ／作
マイア・バー／訳
ひさかたチャイルド
とっても恥ずかしがりやのミリアムは、名前を呼ばれるだけで顔が真っ赤になってしまう女の子です。みんなはそれを「トマトっこ」と呼んでからかいます。



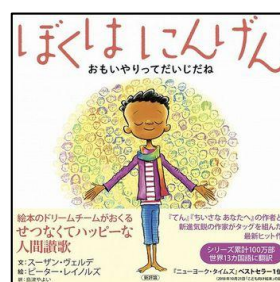
はやくはやくといわないで

益田 ミリ／作 平澤 一平／絵
ミシマ社
はやくはやくといわないで。どうしていそぐ。いそいで、どこいく…。きこえていますか？この子の声、あの人の声、わたしの声…。



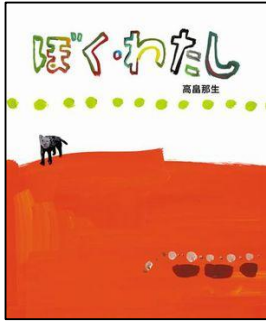
フンころがさず

大塚 健太／作 高畠 純／絵
KADOKAWA
ボクがフンころがしていることをみんなは変だという。だから、ボクはフンころがさないことに決めた。でも友達のキツツキさんが「君はフンころがすからフンころがしなんだ」って。



ぼくはにんげん

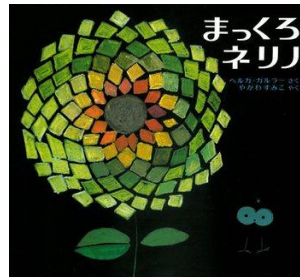
スーザン・ヴェルデ／文
ピーター・レイノルズ／絵
島津 やよい／訳 新評論
ぼくはにんげん。でも、だからこそまちがってしまう。なにかをこわがったり、傷ついて落ちこんだりもする。そんなとき、ぼくは気づくんだ。それは…。



ぼく・わたし

高島 那生／作
絵本館

いろんなぼく、いろんなわたし。
得意なことはさまざま。みんない
ろんな気持ちで過ごしてる。イヤ
なことも、うれしいことも苦手な
ことも得意なことも
みんなぼく、みんなわたし。



まっくろネリノ

ヘルガ＝ガルラー／作
やがわ すみこ／訳 偕成社

まっくろネリノは兄弟の鳥たちにも仲
間はずれにされて、いつもひとりぼっ
ち。ネリノは、自分の特徴を生かして
大活躍することで自信につなげて
いきます。



みけねこキャラコ

どい かや／作・絵
偕成社

みけねこだけど茶色の毛が少し
あるだけで、みけねこに見えない
キャラコは、色紙や絵の具で茶
色をつけるのですが、うまくいき
ません。



みんなからみえないブライアン

トルーディ・ラドウィッグ／作
パトリス・パートン／絵 さくま ゆみこ／訳
くもん出版

ブライアンは、絵を描くのが好きで、ク
ラスのなかではめだたない男の子で
す。みんなの輪にも入れません。そんな
ある朝、転校生のジャスティンがやって
来て…。



めうしのジャスミン

ロジャー・デュボアザン／作・絵
乾 侑美子／訳
童話館出版

めうしのジャスミンは、農場の裏
庭で羽飾りのついた帽子を見
つけました。帽子をかぶったジャ
スミンを見て、農場の動物達は
大笑いします。



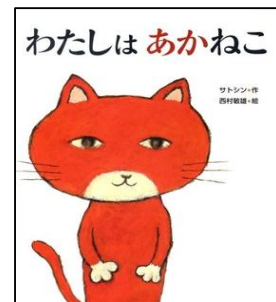
もしかしたら

コビ・ヤマダ／作
ガブリエラ・パロウチ／絵
前田 まゆみ／やく パイインターナショナル
これまでも、これから、あなたはかけ
がえのないただひとりのひと。あなた
は、あなたにしかできないことをする
ために、このせかいにいる。



みんなとちがうきみだけど

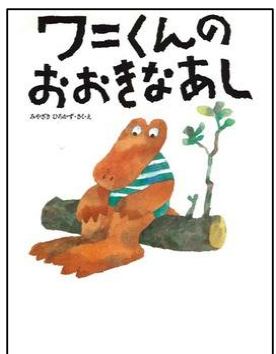
ジャクリーン・ウッドソン／作
ラファエル・ロペス／絵
都甲 幸治／訳 汐文社
教室に入ると、みんながきみとは
違って。それは肌の色かも
もしれません、服かもしれません。
でも、きみのそばには、勇気ある
もうひとりのきみが立っていて。



わたしはあかねこ

サトシン／作 西村 敏雄／絵
文溪堂
家族中、白、黒、ぶち等、ネコらしい
色・模様なのに1匹だけ赤い色をし
たあかねこ。あかねこは自分の色が
好きなのに、みんなは同情ばかりし
ます。

【読み物】



ワニくんのおおきなあし

みやざき ひろかず／作・絵
BL出版
人並みはずれた大きな足のワニ
くんは、自分の大足を悩み、洗っ
たり、冷やしたり、何かと小さくし
ようとやってみますが、よくよく考
えてみると、足が大きいってこと
は悪いことばかりでもない、と気
づきます。



わらうきいろオニ

梨屋 アリエ／作
講談社
ひとりぼっちのきいろオニは、学校の
こどもたちと仲間になりたいと思いま
した。こどもたちに見かけのことで
はやしたてられても、嫌われないよう
にと無理をするきいろオニでしたが…。
(小学1〜2)